

**孫見守り隊として、子供たちの下校を見守る活動
をしている菊地昭さん**



始めたきっかけは、老人クラブの仲間から声をかけられたので、自主的に始めたわけはありませんでした。でも、道路に立って子供たちを見守っているうちに、子供たちから挨拶されたり、近所でも顔見知りになれたりして、最近ではとてもやりがいを感じています。子供たちは地域の宝

だだと思いますし、将来、地域の中で子供たちに逆にお世話になる時もあると思います。今後も自分のできる範囲で続けていきたいです。



▲保育所では、寄付されたお金を元に、子供たちの絵本を購入しました。

されてうれしい気持ちになりますからと話してくれました。一方、様々な形で人とのつながりが必要と感じている皆さんも、ちょっとした話し相手や少しの気遣いをしてもらうだけでも、十分ですと話されています。

「ありがたい」との一言と「お互い様」の気持ち、これが、人と人、地域の輪を広げるために必要なことではないかと、今回の取材で感じました。

町や社会福祉協議会でも、つどいの広場や老人福祉センターなどを開放し、皆さんが気軽に集まれる場所や、サークル活動などの仲間づくりの機会などを積極的に提供し、人や地域の輪を作るお手伝い

きざずく地域の輪

人と人とのつながり

群馬県の児童福祉施設に「伊達直人」の名前で子供たちに行われた寄付。これをきっかけに、全国各地で様々な匿名の名前で、多くの寄付が行われました。

町でも2件の寄付が寄せられ、それぞれ、保育所と社会福祉協議会で有効に活用させていただくことになりました。

この運動については、大変すばらしい現象だが、日本人の社会性からして一過性のものではないか。また、希薄化する人間関係の中で、本当は何か人のために役に立ちたいと思っ

「伊達直人」の名前で子供たちに行われた寄付。これをきっかけに、全国各地で様々な匿名の名前で、多くの寄付が行われました。



▲老人福祉センターは、高齢者の皆さんのふれあいの場となっています。

**民生児童委員として、つどいの広場でお手伝い
をしている相楽榮子さん**

つどいの広場を手伝うようになって約3年ですが、ようやくお母さんや子供たちから信頼してもらえるようになりました。お母さんたちの中には、近所に知り合いがない場合が多いし、家庭内での人間関係で悩みを抱えている人が多いので、そういった皆さんの憩いの場となっていると思います。私も、いつも笑顔で心がけ皆さんに安心して過ごしてもらいたいと思っています。



民生委員として、皆さんの役にたてるように、とも思いますが、私自身も、子どもやお母さん方から元気をもらえるので楽しいですよ。



**2人のお子さん
の子育て
奮闘中の
大和田利加子
さん**

今の場所には住んで間もないので、中々積極的に近所のお付き合いするほどではありませんが、子育てママ同士のお付き合いは、育児サークルやつどいの広場などで幅広くやっています。

特に子育てに関する情報交換は、先輩ママたちからの話はとても参考になり助かっています。子育てをしていると外で人と接する機会が少なくなるのでこういう場所はとても助かります。

**80歳を超えてご夫婦でお過ごし
の鈴木和子さん**

娘たちが遠くへ嫁いでしまったので、今は、夫と二人で暮らしています。家事などは、娘たちが代わる代わる来てくれるので助かっていますが、ボランティアの方から声をかけていただければと



はとてうれしいですし、感謝しています。遠くの親戚よりも近くの他人ではないですが、近所の皆さんもお年を召しているの、お互い声を掛け合って、気配りするようにしています。

配食ボランティアをする長嶺陽子さん

以前、民生委員だったことがきっかけで誘われて、今も月に4回位、お年寄りなどへ安否確認を兼ねて配食ボランティアをしています。

お弁当は手作りなので、皆さんにおいしいといってもらえることが一番うれしいですね。地域でも高齢者が増えてきて、近所のお付き合いも減ってきているので、皆さんの輪をつなぐお手伝い出来ればいいと思っています。

